

バンク・マンディリ(BMRI)

QRコード電子決済アプリのリンクアジャに続き、イスラム教徒向けの「リンクアジャ・シャリア」の開発に期待
インドネシア | 銀行 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG BMRI:J | REUTERS BMRI:JK

- 2019/12通期は、純金利収益が同8.8%増、非金利収益が同3.4%減、営業利益が同7.5%増、純利益が同9.9%増だった。
- 貸出残高は同10.7%増。大企業向けキャッシュマネジメント、低所得者向けマイクロクレジット、および消費者向け融資が伸びた。
- QRコード電子決済アプリのリンクアジャに続き、イスラム教徒向けの「リンクアジャ・シャリア」の開発が期待されよう。

What is the news ?

1/24発表の2019/12通期は、純金利収益が前期比8.8%増の59.44兆IDR、非金利収益が同3.4%減の27.35兆IDR、営業利益が同7.5%増の36.45兆IDR、純利益が同9.9%増の27.48兆IDRとなった。純金利マージンが0.1%ポイント縮小したものの貸出残高の増加が純金利収益の増加に貢献した。非金利収益の減収は前期に計上したMandiri AXA General Insurance (MAGI) 売却益の反動減が影響した。営業費用の対総営業収益比率が同1.3%ポイント悪化の45.2%となったものの、貸倒引当金繰入額が同14.9%減の12.07兆IDRとなったことが営業増益に寄与した。リスクの質は、リスク融資の対貸出残高比率が同0.1%ポイント低下の9.6%、期末の総不良債権比率が同0.42%ポイント低下の2.35%、不良債権の回収率が同5.8%ポイント上昇の44.5%、信用コストが同0.4%ポイント低下の1.4%へと改善した。

貸出残高は同10.7%増の907.45兆IDRとなった。大企業向け融資は、キャッシュマネジメントの期末ユーザー数が同24.3%増、取引件数が同58.7%増となり、当座預金額の増加に寄与した。リテール向け融資は、低所得者向けマイクロクレジットが同20.1%増、消費者向け融資が同7.9%増、中小企業向け融資が同3.4%増。マイクロクレジットは、政府プログラム (KUR) が同45.5%増、給与ベース融資 (KSM) が同17.5%増、生産関連融資 (KUM) が同5.1%減。消費者向け融資は、自動車ローンが同9.6%増、クレジットカードが同20.1%増、住宅ローンが同2.8%増。オンライン融資は、残高が同2.0倍、フィー収入が同2.5倍となった。

How do we view this ?

2020/12通期会社計画は、貸出残高が前期比8.0-10.0%の伸び、純金利マージンが5.4-5.6%、総不良債権比率が2.1-2.3%、信用コストが1.2-1.4%である。同社を含む国営銀行4行と通信大手テルコムセルなどの国営企業が提携して2019/6末にQRコード決済による電子決済アプリサービス「リンクアジャ」を開始したのに続き、現在はイスラム金融商品やハラール製品の取引を行う「リンクアジャ・シャリア」の開発が行われている。ザカート (喜捨) やモスクへの寄付をアプリで行う機能も搭載される予定であり、イスラム教徒に電子決済の利用を促すことが期待されよう。

2020/12通期の市場予想は、当期利益が前期比11.6%増の30.66兆IDR。

業績推移

※参考レート 1IDR=0.008円

事業年度	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12F	2021/12F
売上高(十億IDR)	98,981	106,318	115,811	96,332	105,654
純利益(十億IDR)	20,639	25,015	27,482	30,668	34,237
EPS(IDR)	442.28	536.04	588.90	651.99	725.27
PER (倍)	17.69	14.60	13.29	12.00	10.79
BPS(IDR)	3,572.55	3,882.91	4,384.30	4,357.90	4,734.78
PBR (倍)	2.19	2.02	1.78	1.80	1.65
配当(IDR)	199.03	241.22	-	261.52	281.06
配当利回り (%)	2.54	3.08	-	3.34	3.59

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(IDR) **261.52** (予想はBloomberg)
終値(IDR) **7,825** 2020/2/18

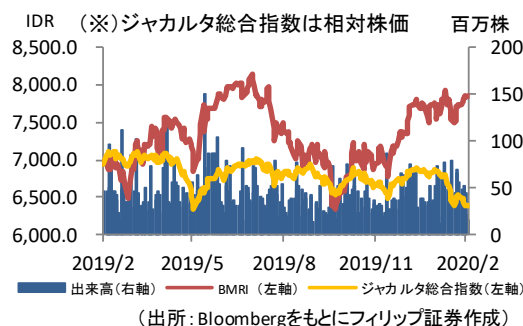
会社概要

1997年以降のアジア通貨危機時にインドネシア政府により実施された銀行再編計画の一環として1998年に設立。1999年にBank Bumi Daya、Bank Dagang Negara、Bank Exim、Bapindoの4つの国営銀行が同行に統合された。現在はインドネシア政府が60%の筆頭株主である。

同社は、コーポレートバンキング、コマース&ビジネスバンキング、マイクロ&リテールバンキング、自己資金運用(トレジャリー) & 国際金融、消費者金融の5つの戦略的事業ユニットを展開。投資銀行のMandiri Sekuritas、保険会社のAXA Mandiri Financial Services、イスラム金融のSyariah Mandiri bank、低所得者向けの小口金融であるマイクロバンキングを行うBank Sinar Harapan Bali、マルチファイナンス事業を行うMandiri Tunas Financeなどの子会社がある。

企業データ (2020/2/19)

ベータ値	1.38
時価総額(十億IDR)	365,167
企業価値=EV(十億IDR)	-
3か月平均売買代金(十億IDR)	332.4



主要株主 (2020/2)

1.インドネシア共和国	60.00
2.ブラックロック	1.43
3.ハリス・アソシエイツ	1.00

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

笹木 和弘
togo.masubuchi@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>